

**【NEWS RELEASE】**

2022年1月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

ENECHANGE 株式会社に「SDGs 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ENECHANGE 株式会社（代表取締役 CEO：城口洋平、代表取締役 COO：有田一平）に「SDGs 推進融資」を実施いたしました。

「SDGs 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の SDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じた SDGs 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGs の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ENECHANGE 株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGs の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① エネルギープラットフォーム事業・データ事業におけるデジタル技術活用による、エネルギー利用の最適化、再エネの導入促進

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.1 2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
	7.2 2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

- ② ファンドを通じた途上国における再エネ拡大、オウンドメディアを通じた気候変動に関する意識の啓発

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.2 2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減および早期警戒に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を改善する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。